

研究テーマ	「児童生徒の思考力の育成を目指した指導の工夫」 ～授業実践におけるICT機器の活用方法の探究を通して～																															
研究目標	ICT機器の活用方法について整理し、様々な指導の形態のICT機器を用いた授業実践を行う中で、児童生徒の思考力を育む方法を、ICT機器の活用の観点から探る。																															
研究内容・方法 研究計画等	<table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>内容</th> <th>月</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4</td> <td>○年間の研究内容の確認・検討 ○実態調査(諸検査)の実施について ○第1回研究推進委員会</td> <td>10</td> <td>○校内研究日 ・指導案検討会</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>○第1回研究全体会(運営) ※授業実践(5月～11月)</td> <td>11</td> <td>○指導主事訪問 ○研究のまとめの作成 ・校内研究の取組の反省 ・校内研究アンケートの集約、分析</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>○校内研究日① ・R5年度授業実践の成果と課題の共有 ・一人1台端末の効果的な活用～個別最適な学びを考える～(特別支援教育編)動画視聴 ・職員会議(指導案様式提案)</td> <td>12</td> <td>○部会・部反省・学校評価検討 ○研究全体会に向けての準備</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>○校内研究日② ・本校教員の授業実践の共有 ○部会・部反省会</td> <td>1</td> <td>○研究のまとめの作成、検討 ○第2回研究全体会(運営) ○部会(次年度の研究について)</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>○校内研究日③ ・本校教員の授業実践の共有</td> <td>2</td> <td>・次年度計画 ・第2回研究推進委員会 (次年度の研究について検討) ・研究全体会に向けての準備</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>○校内研究日④ ・3年間の研究の成果と課題 ・次の研究で知りたいこと</td> <td>3</td> <td>・第3回校内研究全体会 ・研究集録の作成、丁合、配布 ・次年度引き継ぎ事項について確認</td> </tr> </tbody> </table>	月	内容	月	内容	4	○年間の研究内容の確認・検討 ○実態調査(諸検査)の実施について ○第1回研究推進委員会	10	○校内研究日 ・指導案検討会	5	○第1回研究全体会(運営) ※授業実践(5月～11月)	11	○指導主事訪問 ○研究のまとめの作成 ・校内研究の取組の反省 ・校内研究アンケートの集約、分析	6	○校内研究日① ・R5年度授業実践の成果と課題の共有 ・一人1台端末の効果的な活用～個別最適な学びを考える～(特別支援教育編)動画視聴 ・職員会議(指導案様式提案)	12	○部会・部反省・学校評価検討 ○研究全体会に向けての準備	7	○校内研究日② ・本校教員の授業実践の共有 ○部会・部反省会	1	○研究のまとめの作成、検討 ○第2回研究全体会(運営) ○部会(次年度の研究について)	8	○校内研究日③ ・本校教員の授業実践の共有	2	・次年度計画 ・第2回研究推進委員会 (次年度の研究について検討) ・研究全体会に向けての準備	9	○校内研究日④ ・3年間の研究の成果と課題 ・次の研究で知りたいこと	3	・第3回校内研究全体会 ・研究集録の作成、丁合、配布 ・次年度引き継ぎ事項について確認			
月	内容	月	内容																													
4	○年間の研究内容の確認・検討 ○実態調査(諸検査)の実施について ○第1回研究推進委員会	10	○校内研究日 ・指導案検討会																													
5	○第1回研究全体会(運営) ※授業実践(5月～11月)	11	○指導主事訪問 ○研究のまとめの作成 ・校内研究の取組の反省 ・校内研究アンケートの集約、分析																													
6	○校内研究日① ・R5年度授業実践の成果と課題の共有 ・一人1台端末の効果的な活用～個別最適な学びを考える～(特別支援教育編)動画視聴 ・職員会議(指導案様式提案)	12	○部会・部反省・学校評価検討 ○研究全体会に向けての準備																													
7	○校内研究日② ・本校教員の授業実践の共有 ○部会・部反省会	1	○研究のまとめの作成、検討 ○第2回研究全体会(運営) ○部会(次年度の研究について)																													
8	○校内研究日③ ・本校教員の授業実践の共有	2	・次年度計画 ・第2回研究推進委員会 (次年度の研究について検討) ・研究全体会に向けての準備																													
9	○校内研究日④ ・3年間の研究の成果と課題 ・次の研究で知りたいこと	3	・第3回校内研究全体会 ・研究集録の作成、丁合、配布 ・次年度引き継ぎ事項について確認																													
研究の概要 ・研究経過 ・研究成果等	<p>○研究の概要 本研究は3か年計画であり、ICT機器活用方法について整理し、様々な指導の形態で授業実践を行う中で、児童生徒の思考力を育むためのICT機器活用方法をICT機器活用の観点から探る。</p> <p>○研究経過 (校内研究日に行った研修会・ワークショップ) ・思考力についての話し合い等 ・本校教員による授業実践の共有等</p> <p>(授業実践) 令和5・6年度は、「思考力を育むためのICT機器活用シート」と「略案」を用いて授業実践を行った。令和5年度は、全学部合わせて11件の授業実践を行った。今年度は5～11月の間に、24件実施した。</p> <p>○研究成果 ・研究初年度は、「思考力の定義について知る」、「ほぼ全ての教員がICT機器を使用して授業を行う」ということが目標であった。そのため、思考力について理解を進めるとともに、ICT機器の接続の仕方、授業で活用できるアプリケーションの紹介、タブレット端末の使用法など、教師の情報機器活用に向けた研修が主だった。その後、令和5・6年度に「思考力を育むICT機器を活用した授業実践」として、各授業を担当する教員全員が、「思考力を育むICT機器活用シート」と「略案」を用いて授業実践を行った。また、同時に、日々の授業実践内容の共有や外部講師を招いた授業作り研修を行ったことで、令和5年度からはICT機器を使用した授業実践が日常的となり、「思考力の育成を目指したICT機器の活用」というテーマに迫れるようになった。以下は、本研究の3年間で見えた成果と課題を抜粋したものである。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 実践形式の研修会を行うことで、ICT機器を使用した授業づくりが通常化した。視覚支援、学習系アプリの活用、個々の障害の困難さを軽減させるための機器活用等、ICT機器の使用目的が明確化され、教師、生徒ともにICT機器を活用することが日常となった。 研究がまとめに近づくにつれ、思考力の変容を評価する方法について検討する場面が増えた。ICT機器を活用することで、学習内容の定着が見られた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ICT機器を用いた授業ではあるが、生徒の実態に合った「ICT機器を用いた思考を促す工夫」や「教師の発問の工夫」が必要だと改めて感じた。 思考力を育成するための情報活用能力は、段階的に定着させていくものであり、具体的な内容について、明確化する必要があった。 生徒の変容を評価する際、「思考力・判断力・表現力」の評価基準を明確にすることが必要だと感じた。(主体的に学びに向かう態度の評価につながる実践もあった。) 																															